

定積分の置換積分法

文字を置き換えると、定積分の区間も変化する。

例 $\int_0^1 x(1-x)^5 dx$

$1-x=t$ とおくと, $\int_{\square}^{\square} (1-t)t^5(-dt)$ (ここまではこれまでと同じ)

x の積分区間が $0 \leq x \leq 1$ であるから, $1 \leq 1-x \leq 0$ つまり, $1 \leq t \leq 0$

よって, $\int_0^1 x(1-x)^5 dx = \int_1^0 -(1-t)t^5 dt$

x	0	\rightarrow	1
t	1	\rightarrow	0

問題 1 次の定積分を求めよ。

(1) $\int_0^3 (5x+2)\sqrt{x+1} dx$

(2) $\int_{-1}^{\frac{1}{2}} x(2x+3)^{\frac{3}{2}} dx$

(→教科書 p.143 問4)

偶関数と奇関数の定積分

偶関数 : $f(-x) = f(\quad)$ を満たす関数のこと。 \quad について対称である。

奇関数 : $f(-x) = f(\quad)$ を満たす関数のこと。 \quad について対称である。

● 偶関数と奇関数の定積分 ●

① $f(x)$ が偶関数のとき, $\int_{-a}^a f(x)dx = 2 \int_0^a f(x)dx$

② $f(x)$ が奇関数のとき, $\int_{-a}^a f(x)dx = 0$

問題 1 次の定積分を求めよ。

(→教科書 p.146 問 6)

(1) $\int_{-1}^1 x^8 dx$

(2) $\int_{-1}^1 (e^x - e^{-x}) dx$

(3) $\int_{-1}^1 \frac{1-x}{1+x^2} dx$

(4) $\int_{-2}^2 x\sqrt{4-x^2} dx$